

県の家庭教育支援に係る取組（平成 30 年度）

1 家庭教育推進事業（情報提供、相談等）

(1) 学習資料（「すこやか」）の作成・配付（平成30年4月配付 43,000部）

新中学1年生の保護者等に対し、親子関係や命の大切さ、いじめ、不登校への対応など家庭教育の要点についてアドバイスする冊子を作成、配付

- ・配付対象 県内の国・公・私立中学校、中等教育学校、特別支援学校中等部の1年生の保護者（政令市の学校を除く）

(2) 子ども向け学習資料、保護者向け冊子のインターネットへの掲載

ア 子ども向け学習資料「おうちの仕事 やってみよう！」（平成30年7月発行）

家庭でのお手伝い等、子どもと保護者がともに記入し、活用できる形式の資料

イ 保護者向け冊子「家族で一緒に考える夏休み」（平成30年7月発行）

しつけの重要性について啓発する冊子

(3) 相談機関紹介カードの発行（平成30年7月発行 1,025,000枚）

家庭教育に関する相談機関の電話番号等を掲載した紹介カードを青少年センターと共同で作成、配付

- ・配付対象 県内全ての国・公・私立小・中・高・特別支援学校、中等教育学校の児童・生徒（児童・生徒1名につき1枚配付し、児童・生徒本人及びその保護者の活用を促す）

(4) 体験活動推進事業

親子で感動を共有し、語り合う機会を提供することにより、家庭教育の充実を支援する。

○工業に関する学科等を設置している県立高校での親子ものづくり体験（平成14年度～）

平成30年度実績：9校実施、参加者522名

2 家庭教育協力事業者連携事業

県教育委員会と事業者が協定を締結し、事業者は保護者である従業員に対して学校行事等への参加を働きかけるほか、「子ども職場見学会」の実施、従業員や地域住民を対象とした親子参加型の体験教室等に取り組む。県教育委員会は事業者名やその取組を広く紹介するなど、事業者と連携・協力して家庭教育力の向上を図る。（平成30年12月末現在142事業者と協定を締結中）

3 「子ども参観日」の実施

県が率先して、子どもたちに大人の働く姿を見せ、仕事について語り合う機会を提供し、親子の対話や子どもとのふれあいを深めるとともに、家庭教育の充実及び子育て支援の推進を図るため、県庁職員の子どもを対象とした「子ども参観日」を実施する。

平成30年度実績： 8月3日(金)実施 参加者119名（出先機関における実施を含む）

4 家庭教育支援総合推進事業〔国庫補助事業〕

(1) 市町村が実施する家庭教育支援事業に対する補助

保護者が安心して家庭教育を行えるよう、身近な地域において保護者が家庭教育や子育てについて学べる学習機会を提供したり、相談対応を行うなど、家庭教育を支援する活動を実施している市町村に対し、経費の一部を補助し家庭教育支援の推進を図る。

平成30年度実施状況 1市（海老名市「家庭教育学級」の実施に対する補助）

平成31年度実施見込み 3市町

(2) 県が実施する事業

ア．神奈川県学校・家庭・地域連携協力推進委員会

平成30年度開催状況 7月23日、9月6日、1月24日

イ．生涯学習指導者研修「家庭教育支援コース」

平成30年度実施状況 平成31年2月6日 実施予定

5 文部科学大臣表彰の県内推薦団体の選考

(1) 「早寝早起き朝ごはん」文部科学大臣表彰（平成24年度～（隔年実施））

平成24年度	該当なし	
平成26年度	秦野市立しぶさわ幼稚園	三浦市立南下浦中学校
平成28年度	大和市立大野原小学校	平塚市立旭陵中学校
平成30年度	該当なし	

(2) 「家庭教育支援チーム」文部科学大臣表彰（平成29年度～（隔年実施））

平成30年度は実施なし（平成29年度被表彰団体 三浦市「はっぴー子育て応援団」）